週刊 勤勞タイムス

毎週日曜日發行
定價 一ヶ月 二十五円 一ヶ年 二百五十円
廣告 一行 五十円 場所指定 二十圓增
福島縣平市南町六七 印刷所 昭和印刷所
福島縣平市大町八番地
編輯發行印刷人 木村安次

社説

常磐炭田の將來と勤勞精神の再確立

由來常磐地方炭礦の經營及採掘法は原始的非科學的な方法を繰返しつゝあつたが近代戰爭による需給の關係上大炭礦のみはやゝ機械化し合理化されて來たが日曹福島炭礦は經營困難に陷入りこれが打開策として勞働賃金の二割減と實勞一時間延長を勞組に提案した、勞組側は勤勞者三百五十二名の死活にかゝわる重大問題であるとして當局へ眞相調査を依頼し、その結果をまつて態度を決定せんとしている。

一、石炭のカロリー制
一、政府の赤字補の打切
一、勞働能率の不振

等によりこゝ數ヶ月間毎月二十數万圓の欲損を續けていることが問題の理由である。然し其の後兩者間の話し會によりこの要求は一應取下げてはいるがこの問題については十月二日付「いわき民報論壇」に「群小炭礦の經營の問題」と題して同社の田原君が抽象的ではあるが一應論評を下している

我が勤勞タイムスは炭礦の實際經營の体儉を有する筆者により本問題を考慮に入れ大極的にメスを加へんとするものである。

思ふに常磐炭田に於ける諸炭礦は總べて

一、老衰期に入つている
二、資本が枯渇している
三、機械化の不足
四、技術面に斬新性がない
五、鑛區の不整頓
六、低品位炭田の將來への不安
七、生活改善の不徹底
八、思想の混亂と食糧不安による增產熱意の低調
九、インフレーによる資材購入の困難

幾多の悪條件により手も足も出ぬ狀態にあり生產目標突破どころか努力は欠損を招き負債に追はれ、一日を食い延し生き延びることに汲々としていると云つて過言ではなかろう。本炭田の炭礦を早老せしめ不安定に陷入らしめた原因には以上の他に

一、好景氣時代の利潤追求による無方針
二、戰時增產の急務による濫掘
三、復雜な機構の不整備
四、政府施策の急變による勞資の不安
五、炭礦融資の不活潑
六、綜合的水害對策の不備
七、產業道路の荒廢と輸送面の不圓滑
八、敗戰による勤勞精神の低調

其の他種々の問題に起因するが其の最も大きな問題は**從來政府當局の無責任**と無方針によることは今更論をまたざるところであつて當局の無施策は勞資をして苦境に陷入らしめこゝに**弱肉强食**の斗爭が展開されつゝある、勞資双方の立場は多少異るも苦難の原因は同じところから發生していることを深く認識し、協力をもつて原因の根本解決に死力を盡すべきである

前述の如き常磐炭田不振の根本原因の解決策は

一、復興資金の大量導入
　イ、鑛山金融金庫の設立
　ロ、復興金庫より當面への融資

何れにしても政府の急速なる方法として鑛山專門の**金融金庫**を急設することである

二、鑛區の再分割による諸般の整備
　イ、採掘の利便と綜合的排水の合理化
　ロ、輸送道路と軌道の炭礦相互利用
三、老衰炭礦へ科學的メスを
　イ、思ひ切つた新坑の開發
　ロ、最下部炭層への調査と掘進
　ハ、資本に資材及人的經濟のために老朽し更生の見込のない部分は鑛區權を取消再掘を許可しないこと

特に老衰炭礦への科學的調査は政府當局管理のもとに行ふ必要があり又當局の絕對援助を必要とする。

四、老廢鑛區の經營者及勞務者へ無償で新鑛區を興へ移動せしめること
五、優秀技術者及勞務者を有望炭礦へ再配分することと又は再教育と技術の變換を行う
六、勤勞生活の實質的大改善
七、徹底的機械化と綜合的絕對排水計畫の實施
八、科學的經營への一齊轉換を實施

等枚擧にいとまがないが大略以上の如き諸施策の實行により常磐炭田は回生し日本復興の厚動力ともなり得るのである、筆者が昨年本紙上に提案した常磐地方の海底炭田の開發こそは現下日本の新局面を打開するものとしてこの際最も緊急を要するものであることを付言する。

前述の如く常磐炭田の回生策は多々あるもこれが實行には政府當局が强力なる積極的援助を行ふは勿論であるが勞資相互の頭の切換が必須條件であり我が常磐炭田を眞に愛する熱意による精神的協力が絕對に必要であり、特に要請されるのである。日曹福島炭礦が現實に直面している問題解決策は一時的彌縫策であつて根本的問題の解決策ではない

從來の炭礦業者の中には往々にして資本の借入及び其の使途に無責任であり勞組が勞働の義務に不誠意であつた實例は各所に散見するところであつて、これでは如何に軍司令部及當局の指導援助があり幾等機械化されても効力を現すことは不可能である。我等は前記の諸施策の速時實行と共に「日本再建に燃ゆる情熱的勤勞精神」の發揚を要望してやまない。

つている。

勤勞苦言

▼…市民一日一圓貯蓄で寄附、それで市役所の新築とはよく考へたもの

▼…ついでにセメントやガラス木材等を喰う入宇豫算も計上してはどうか

▼…平市復興計畫、泣きながら立退く人、立退かされる人がんばる人、近代都市平の完成は何日のことやら

▼…勤勞通勤者の大半が居住する驛裏、通學生達の待望する平裏驛陸橋の架設はどうなつたのか熱意を示せ

▼…文化都市平に兒童の遊園地がありません、子供は道路から空地から追はれる子供よ何處へ行く

▼…丹後澤の地を一部埋立て遊園地化する氣はないか大人の遊びには霧中だが子供達のことには知らぬ顔の半兵衛、それでも親か

▼…文化團体は出來ても立消える市町村當局の指導精神の低調を示す、これ文民民國家も前途遼遠

次期政權は誰れか

芦田内閣遂に總辭職

栗栖前大藏大臣、西尾國務大臣の昭電事件にかゝわる强制收容は芦田内閣をゆり動かし遂に總辭職となつたが、この問題では各黨の大物が續々招換される見込で次期政權の首班が問題視され、吉田茂、片山哲、松平恒夫氏が優力視されている。憲政の常道により吉田氏となるか、擧國内閣を目的として松平氏擁立となるか民主、社會、國協の線にそへ片山氏の再出馬となるか今のところ豫斷を許さない。

政界大地震の余波が本縣に！

飛び出すか小池の雜魚

小澤代議士收容さる

昭電事件にからみ栗栖、西尾兩大臣が招換と同時に小菅拘置所へ强制收容され本縣出身小澤專七郎代議士も前後して强制收容せられた、縣政界特に濱通りは何分小澤氏の地盤であり息のかゝつている人々が多いためか内心非常な打擊を受けているが、事件の推移をうかがい鳴りをひそめている、事件の發展如何では大きな影響があること確實で地震も余りに大きいと小池の雜魚まで飛び出すことがあり縣民注視のまとゝな

タイムス論評

勤勞文化團体への助成

終戰後各種文化團体の結成は日を追ひ續出して來たがその發展は經濟面に行詰を來し遅々として進まず、今日に至つてはむしろ立消えの狀態にあり我が國文化の將來に一稍の寂しさを感じるが、他面勤勞團体による文化活動は曲りなりにも經濟的根據があり、將來への發展を期待し得られるのである、しかしながらこれとても時間的に制約せられ、思ふにまかせぬ恨みが多分にある、勤勞者の文化運動は思想又は生產並に生活面の改善に多大の影響があるものであるから、これが指導並に育成には熱意をもつて處さねばならぬ。如何なる文化團体と云へども經濟的に惠まれなければ永續の可能性がないのであるから利得を產むべく事業化の必要を痛感する、ともあれ文化團体に對しては市町村並に外部團体による助成の方策を考究しなければ眞に文化國家としての發展は期待し得ない、これが助成には市町村の如き自治体は或る程度の豫算を計上し極力これを助成し育成に勵む必要がある。又協同組合とのタイアップによる助成の方法も賢明なる方法と云へよう、各種文化團体は橫の連携を强固にし常に相互の發展を研究し社會的に貢獻寄與するよう特に努力すべきである。

事務用と文房具
學用品と紙製品
(平) 尾張屋
平市五丁目十九
電話九四七番

(久) 釜屋商店
平市五丁目
電話九番九九番

三大漁港を結ぶ 磐南鐵道の起工

總工費六千五百萬圓と云ふ莫大な豫算により小名濱—中之作—江名の三大漁港を結ぶ磐南鐵道の起工式は江名町隣保舘前廣場に於て去る二十八日關係地方名志を招待して擧行されたが、奈佐社長は小名濱臨港鐵道と密接な提携のもとに今後の經營に當ると挨拶した。

この磐南鐵道は資本金二千萬圓ではあるが、その總工費は三倍に上る見込みにて延長五キロ完成は昭和二十五年三月の豫定、年產十萬トンに及ぶ水產物の輸送難も一氣に解決されることゝて大いに期待されている。

平小バス會社併設

片濱廻りの交通は長年の間問題となり地方民の苦しみの種であり、濱通り發展を阻害していたが、磐南鐵道の起工と共に小名濱—江名—豊間—平を結ぶバス路線も併設することに內定平小バス會社假稱を磐南鐵道本社內に設け資本金二千五百萬圓としトレラーバス六台を差し當り購入すべく許可申請を行うことになつた。ちなみに同バスが運轉を開始すれば片濱廻りの交通地獄も解消し常磐交通會社との競走となり、お客の扱いも改善されるものと見てその期待は大きい

公制百六十品目廢止 八日から自由價格

今まで公制の品目中八日より百六十品目の公が廢止され自由價格となつた、娛樂入場料や喫茶店のコーヒーポマード、香油等と同時に食料品、機械類五十品目、金屬四品目、化學制品四十品目、日用品三十品目で合計百六十品目となる。

融資に町が保證 小名濱揚繰網漁業 壹千万圓の融資

福島縣下のお台所を一手にまかなう小名濱揚繰漁業は打續く不漁のため資金難に陷入りその危機を優慮されていたが、今回小名濱町會は滿場一致でこれが打開のため一千萬圓の融資斡旋のため全面的に協力することに決定、全町を擧げて資金獲得のため起ちあがつた。尙この金融に對しては全町一戶當り二千五百圓に相當するもので、この保證を與へた町當局並に地元民の熱意は大いに推賞されている

町議の熱意に答えて

小名濱町會で今回の如き英斷をもつて業界救濟に溫い手をさしのべたことについて三代會長は全町民の熱誠には全く感謝感激にたえない、飽まで生產事業を死守し大いに元氣を出して業者一同と協力したいと語つている、

平石炭局で

十一日映畫觀覽會開催

平石炭局では石炭に關係ある者達の炭礦に關する智識を廣めるため「炭礦教室」を主とした第一回映畫觀覽會を開催したが好評を得たので十月十一日平東寶で午前九時から十時迄福島軍政府提供の「無限の力石炭」其の他を主とした第二回映畫觀覽會を開催する事になつた。

納豆中毒患者激增 四倉、平、植田に五百名

納豆の中毒患者が甚だしく增えて原町の中毒患者三百余名を最初にぞく〳〵發生され四倉町に四百余名、平市に五十名、植田地區に三十名余に達し內二名が死亡している、縣の調査によると病原菌はサルモメラ菌とわかり厚生省豫防破究所で再檢中であるが、中毒納豆の出所は原町南東原吉田納豆店の疑いがあり當局ではさらに納豆の經木の出所を究明している。

俄然運動化す 平放送局の實現

平市、石城双葉兩郡を擧げて熱望久しかりし平放送局昇格問題は去る二日來平の仙台中央放送局長河西三省氏を迎へ鈴木平市長は現在の平放送局分局附近の市有地約一千坪の無償提供方の申出と共に昇格についての特別の應援方を懇請した。河西局長も常磐炭田の重要地点である平市とて非常に有望と思ふから來る二十日頃開催豫定の放送協會重役會に於て提案し、極力盡力することを確約した、又市觀迎會に臨み地方民の昇格を切望する力强い熱意を感じて同夜は甲陽館に一泊三日歸仙した。

放送局昇格 期成同盟會

河西仙局長から昇格について積極的應援の確約を得た期成同盟會では俄然活氣づき會長に鈴木辰三郎市長副會長に鈴木傳明氏、炭礦方面並に町村長會から各役員も內定し日本放送協會重役會開催までに猛烈な陳情を行ふことゝなつた

青田局長待望する

平分局へ轉任後の青田局長は豊間に研究所設置する等當地方の爲めに種々努力を重ねているが昇格問題については着任早々から期待しており知人友人有力者間の話題になつていたが、遂に盛り上る地方民の熱意により昇格實現への炬火をかざしての猛運動には厚く感謝の意を表すると共に一層の努力を熱望している。

縣教育委員當選の榮冠

教育委員の當選は一般の豫想通りといつた感じであるが、四倉の木村守江氏、相馬の佐藤弘毅氏は第三第四位を獲得して濱通りを二分した形であり、堂々たる貫錄を示した、平市平窪出身黑木喜一氏は惜くも次点となり、內鄕町日野定利は一一六〇〇票で十三位共產黨の候補者としてはよく稼いだ方である、勞組方の支持があつたとはいえ左翼系陣營の實數に近いものがうかがはれ興味がある、又第一位から三位までが女性的な名である点存外女性の得票をものにしたのではないかとの評判もある。

當選九六、八三六票 石原三起子
八四、一二二票 村田利喜
六七、一七二票 木村守江
五七、七七三票 佐藤弘毅
五一、八五四票 新城猪之吉
四八、四八四票 松崎誠
次点四二、六〇一票 黑木喜一

ちなみに第一位より三位までが任期四年で四位より六位までは二年である。

平の映畫

十二日より「殺すが如く」
罪戀と情痴にたづれたメタンガス泡沫の如き人生を生きる人々そこに强烈眞紅の花を咲かせた眞實の戀
水戸水子 若原雅雄
世界館

十二日より「のらくら海濱騷動」
まかり出したオメデタコムビ岸井、森川の斬新奇拔なギヤグの爆發！名喜劇
岸井明 森川信
平館

新着封切映畫
十二日より二十一の十日間
上映いたしますす
「歌凱のンザータ」
ジョニイ、ソイズミユラ
フランセス、ギフオード
聚樂館

十二日より「新婚お化け屋敷」
でた！新婚の初夜の晩にどろ〳〵お化けがが何を見たか？
齋藤寅次郎 横山エンタツ
平東寶

平市十五丁目 假設 三夜劇場 小關興行社

高級皮バンド 化粧品
冬大人小供帽子も近く入荷致します
マサゴヤ洋品店
平市中央通り（世界館入口）
電話四六番

青果物 食料品 卸問屋
三國屋
高野正男商店
平市南町
電話一〇〇八番

ストーブ、カマド
其ノ他金物一式
旭屋金物店
今喜代一
平市一丁目31

平四市丁目
關內藥局
電話四〇番

平市南町
織田齒科醫院
織田豊太郎
電話四一六番

マルトモ柴田書店
電話 二三四・一二四番 自宅 八九六番
マルトモ食堂
電話五七〇番

內科 泌尿器科 皮膚科 理學診療科
平市南町 T107
松村醫院

平市大町
永山クリーニング店

毎度有り難う
市川パン店
平市田町三
電話九三六番

安いから賣れる
いづみやの
ライターとケース
いづみや
平驛前 電348番

敷島テント店
平市六丁目